

<～防犯講座 企画から当日までの流れ～ 富勢小学校PTA子育て部>

**①子どもを対象とした防犯教室を企画された理由はどのようなことですか？**

→メディアで見たのがきっかけ。

ランドセルを捨てて走って逃げることや、近づかれた時の護身術を体験しておくことが、いざという時に子供の身を守ることに役立つと思ったため。

**②「あおぼーし隊」に依頼するまでの取り組みについて**

ア、最初の話し合いは何月頃に、どのような会議で話し合いましたか？

→5月上旬、担当者2名での打ち合わせにて話し合った。

イ、「あおぼーし隊」をどのように知りましたか？

→体験型防犯教室を実施している2団体、柏市役所、柏警察署に希望の講座実施可能かを確認したところ、予算・内容に見合う団体がなかった。

その中の1団体のHPに千葉県警にプログラムを提供との文言を見つけ、千葉県警【あおぼーし隊】にたどり着いた。

ウ、どこで連絡を取りましたか？

→直接、千葉県警【あおぼーし隊】へ連絡。

エ、講演の時間、内容、準備等、どのような条件のもとに実施を決めましたか？

→護身術、走って逃げるなどの防犯体験ができる内容かどうか。

オ、実施の決め手は何ですか？

→費用がかからず、日程や回数、講座の内容、時間を柔軟に対応してくださる点。

**③学校（管理職）への連絡や連携はどのように進めましたか？**

→体験防犯教室を実施したい旨、また団体の選定についての要望を本校教頭先生に相談するため、打ち合わせの時間を設けていただく。

その際に、日程調整を含めやり取り全般を役割分担し、担当者が連絡した。

**④実施に向けての準備について**

ア、PTA内でどのように役割分担をしましたか？

また、それぞれの担当がどのように準備を進めましたか？

→PTA子育て部内では年間の講座毎に担当者を決めている。

この「体験型防犯教室」は2名が担当した。

当日の準備運営は、部内全員で時間毎に担当者を配置。

イ、場所や時間をどのように決めましたか？

→7月実施のため熱中症の懸念から、一度に入れる人数を学年ごとに、実施場所を校庭から体育館に変更。オンライン配信も加えることとした。

1学年ごと1時間、1日で6学年すべてに講座を行うことで、学校側と調整。

ウ、保護者等への周知はいつ頃、どのようにしましたか？

→6/2に手紙を配布した（開催1か月前）

エ、保護者の参加はどのような方法で取りまとめましたか？

→手紙の申し込み書欄に、来校かオンラインかを選択記入提出いただき、取りまとめ。

### ⑤当日の動きについて

ア、会場の準備・片づけは誰が、どのように進めましたか？

→あおぼーし隊の方が会場設営。学校側が配信機材準備。

子育て部が保護者、受付用椅子テーブル設置。

イ、司会進行等の役割分担はどのようにしましたか？

→司会進行はあおぼーし隊だが、最初と最後の挨拶時は先生が行った。

子育て部は保護者受付と子供たちの誘導、ランドセルの回収などの手伝い。

ウ、講師（あおぼーし隊）の方々への接待はどうしましたか？

→休憩時にお茶、昼食時にお茶と給食を手配し、校長室にて校長先生が対応。

お茶は学校が用意、給食費は子育て部予算より。

エ、放送機器、PCの準備・片づけはどのようにしましたか？

→学校が担当くださった。撮影配信は子育て部が一部行う。

### ⑥防犯教室終了後のまとめについて

ア、報告書等の作成はだれがしましたか？

→オンライン上でアンケートを実施し、担当が作成した。

イ、成果と課題は？

→成果：子供たちの表情やアンケートからも、楽しんで防犯教室に取り組んでくれたことがわかりました。

また、座学ではわかりにくい内容を、実際に体を動かして体験することで、より理解し身につけることができたと思います。

課題：防犯意識を身につけ、いざというときに行動できるよう、避難訓練のように定期的に実施していきたい。